

# 研究成果発表会

昨年度終了した研究会・プロジェクトについて、研究代表者が成果を発表します

特別講演

13:10～14:20



## 廃棄物処理法からみる プラスチック資源循環促進法

BUN 環境課題研修事務所 主宰 長岡 文明 氏

プラスチック資源循環促進法（以下、「プラ法」）が施行され1年が経過した。容器包装リサイクル法変形認定については、昨年7月以降いくつかの自治体に対して認定が行われているが、製造者・販売者自主回収認定と排出事業者自主回収認定については、今年4月に、ようやく第一号がなされた。改めてプラ法における認定制度について確認し、正規の処理業許可及びプラ法以外の処理業許可不要制度と比較検討し、今後の制度の運用について考えてみたい。

福岡県リサイクル総合研究事業化センター支援制度の紹介 14:30～14:40

成果発表会

14:40～16:20（プロジェクト2件、研究会2件）

- ① バイオマス発電所焼却灰有効利用プロジェクト 九電みらいエナジー株式会社
- ② 濃縮バイオ液肥製造に関する事業化プロジェクト 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社
- ③ プラスチック再生材の市場・利用可能性に関する研究会 レコテック株式会社
- ④ 使用済みサーメットチップによる光熱変換材料研究会 国立大学法人九州工業大学

開催日時

令和5年 7月6日（木）  
13:00～16:30

開催場所

西日本総合展示場 AIM3 階 314・315 会議室  
（北九州市小倉北区浅野 3-8-1）  
※エコテクノ 2023 内で開催いたします。

オンライン同時開催（Zoom ウェビナー）

定員

会場／先着 80 名  
オンライン／先着 500 名

お申込み・お問い合わせ

会場での聴講をご希望の方

エコテクノ 2023 ホームページより、  
来場者登録の上お申し込みください。  
<https://eco-t.solution-expo.jp/>

オンラインでの聴講をご希望の方  
※6/29（木）申込締切

リ総研 HP よりお申し込みください。  
オンライン参加方法の詳細は、申込みフォームでご登録  
いただいたメールアドレスに別途ご連絡いたします。  
<https://www.recycle-ken.or.jp/>

